

News Release

2016年7月26日
一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

重電機器受注生産品の受注実績 2016年度「第 I 四半期(4-6月)」

JEMA では、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。ここに、重電機器受注生産品の2016年度「第 I 四半期(4-6月)」の受注実績を公表致します。

2016年度 第 I 四半期(4-6月)の概要

【概況】

第 I 四半期の受注額は 3,636 億円(前年度同期比 101.9%)と前年同期比超えとなった。製造業、官公需が 2 四半期連続の前年同期比割れとなったものの、非製造業のうち電力業が大幅な増加となり、全体を押し上げた。
(* 以下、前年度同期比は「同」と略記)

【需要者別動向】

■内需

内需は 2,670 億円(同 102.7%)と、非製造業の大幅増により前年同期比超えとなり、堅調を維持した。

- 製造業は 558 億円(同 88.7%)となった。主要需要先で見ると、鉄鋼業が増加したが、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信、自動車が増加したが、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信、自動車が減少した。
- 非製造業は 1,776 億円(同 110.3%)となった。大口需要先である電力業が 3 四半期連続の前年同期比超えとなり、全体を押し上げた。
- 官公需は大口需要先である地方公務などの減少により 294 億円(同 91.3%)となった。

■外需

外需は 966 億円(同 100.1%)と、前年並みとなった。

【製品別動向】

- 発電機、変圧器、配電装置、制御装置は内需、外需ともに増加し、前年同期比超えとなった。
- 交流電動機は外需は減少したものの、内需が大幅に増加し、前年同期比超えとなった。
- 電力変換装置、遮断器は内需、外需とも減少し、前年同期比割れとなった。

■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等であり、
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等であり、

■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。

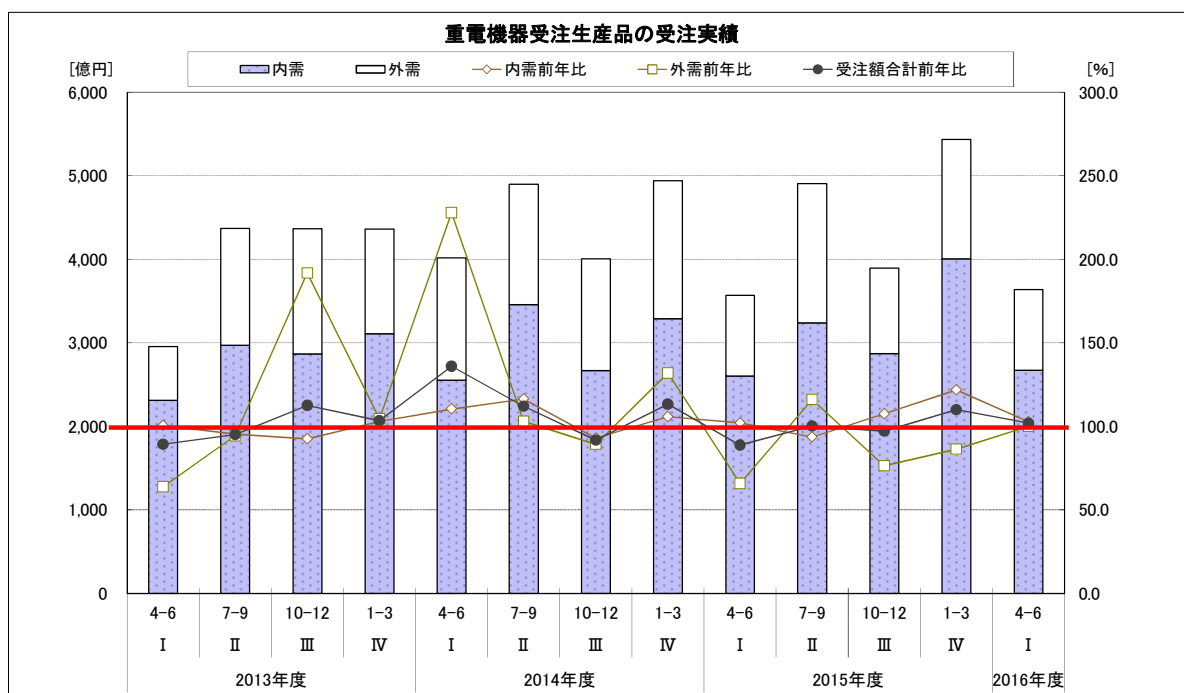
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます。

■公表の形態

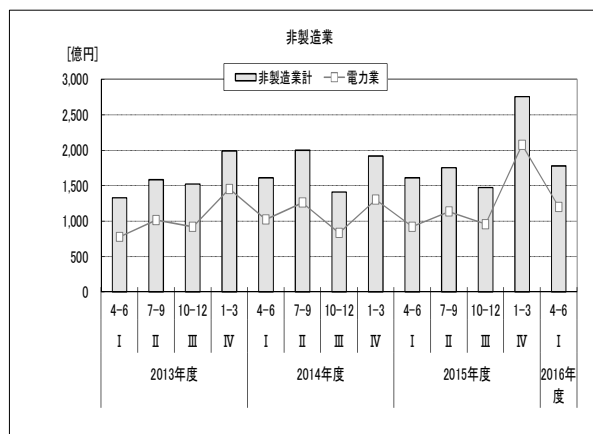
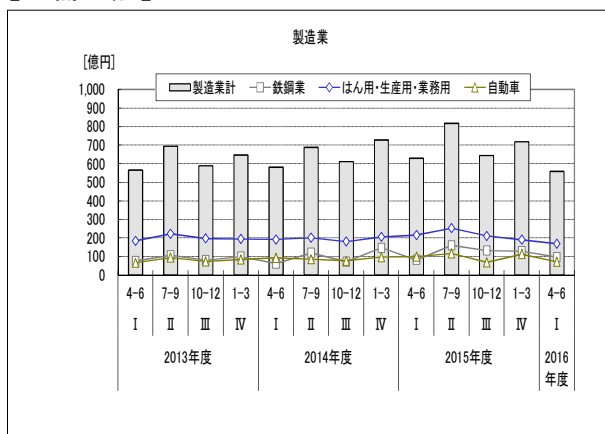
- ・JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

■ 四半期実績の推移

【受注実績: 内需+外需】



【内需内訳】



本資料に関する弊社問い合わせ先

TEL: 03-3556-5885

重電部調査統計課